

INON

イノン SD マウントケース for HERO3/3+/4

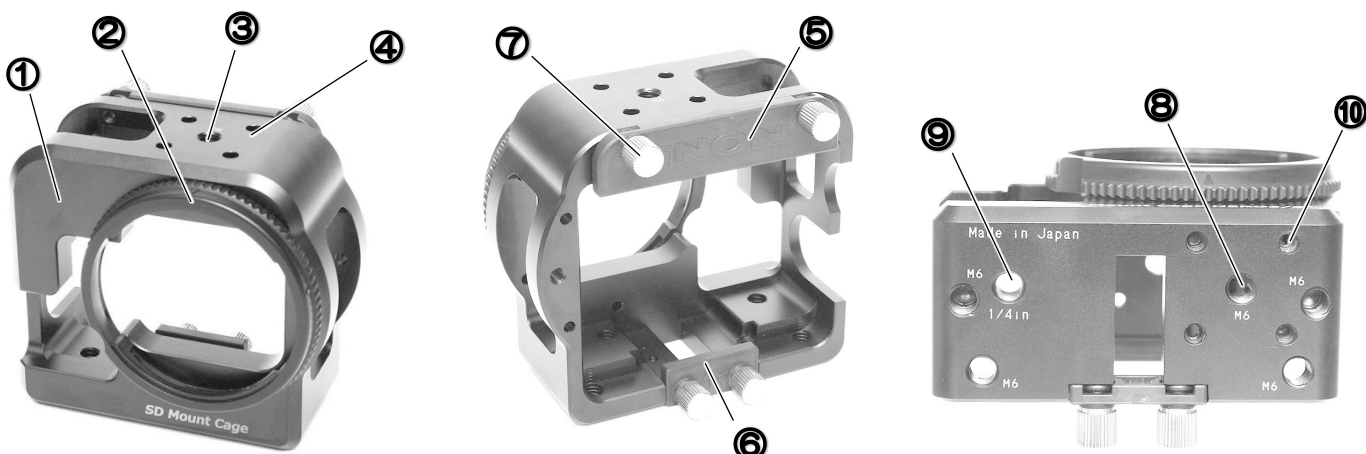
イノン製品のお買い上げ、誠に有難う御座います。

イノン SD マウントケース for HERO3/3+/4 は、GoPro®社のウェアラブルカメラ「HERO4」「HERO3+」「HERO3」の、純正ダイブハウジング（60m/197フィート防水、HERO4/HERO3+は別売オプション）に、弊社の SD マウントレンズ やベースステー、アーム等を取り付け可能とする、GoPro®システムのコアパーツ、マルチパーパスケースです。

製品の主な特徴

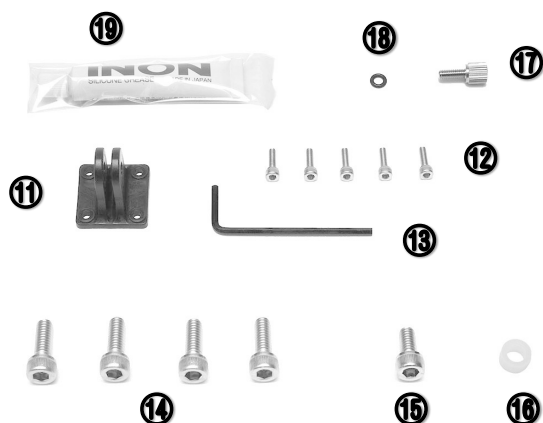
- アタッチメントレンズ 取り付け部規格には、パヨネット方式のイノン SD マウントを装備。
GoPro®等 ウェアラブルカメラ専用設計の、イノン水中セミフィッシュアイコンバージョンレンズ「UFL-G140 SD」(*2)、及び水中ワイドクロスアップレンズ「UCL-G165 SD」(*2)が、ワンタッチで簡単/確実に着脱可能です。勿論、アタッチメントレンズを取り外した状態でのご使用も可能です(*1)。
- 本ケースの上面と底部に、弊社「ダイレクトベース III」「Zジョイント」「Zアダプター MV」が取り付け可能。
- GoPro®規格のオスアダプターが付属しており、本ケースの上面または底部に取り付け出来るので、すでにお持ちのパーツ類を無駄なく使用出来ます。
- 本ケース底部に、弊社「グリップベース D4」の他、「Dホルダー」も直接左右に取り付け可能。安価な「Dホルダー」を、握り角度を変えて取り付け出来ます。
- 本ケース底部に、カメラ三脚ネジ穴（1/4 インチ）があるので、一脚や三脚を使っでの撮影も可能です。(*3)
- アルミブロックから削り出した強固な造りで、純正ハウジングを保護します。
- LCD バックパック、バッテリーバックパックにも対応。

各部名称



- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| 1. SD マウントケース for HERO3/3+/4 本体 | 6. 固定板・下 |
| 2. レンズマウント (SD パヨネットマウント) | 7. ローレットネジ × 4 |
| 3. 別売アクセサリー取り付け穴 (M6 ネジ穴) | 8. 別売アクセサリー取り付け穴 (M6 ネジ穴 × 5) |
| 4. オスアダプター取り付け穴 (M3 ネジ穴 × 4) | 9. カメラ三脚ネジ穴 (1/4 インチネジ穴) |
| 5. 固定板・上 | 10. オスアダプター取り付け穴 (M3 ネジ穴 × 4) |

付属品



- | | |
|------------------------------------|-----|
| 11. オスアダプター (GoPro®規格) | |
| 12. オスアダプター取り付けネジ (1本は予備) | × 5 |
| 13. 六角レンチ 2.5mm | |
| 14. M6 × 16 キャップネジ (Dホルダー-固定用) | × 4 |
| 15. M6 × 12 キャップネジ (Zジョイント上面取り付け用) | |
| 16. M6 スペーサー (長さ 6mm、白色) | |
| 17. ローレットネジ (予備) | |
| 18. ローレットネジ保持用 O リング (予備) | |
| 19. イノングリス | |
| 20. 使用説明書 (本書) | |

対応カメラハウジング : GoPro® HERO4、HERO3+、HERO3 用 別売純正タイプハウジング (*4)
(2016 年 2 月現在)

- 取り付け対応レンズ : SD マウントレンズ
及び、専用オプション (2016 年 2 月現在)
- イン 水中セミフィッシュアイコンパージョンレンズ「UFL-G140 SD」 (*2)
 - イン 水中ワイドクロスアップレンズ「UCL-G165 SD」 (*2)
 - ・ 本ケース [上面] に接続可能なパーツ類 (*5)
 - イン 「ダイレクトベース III」 「Z ジョイント」 「Z アダプター MV」 (*6)
 - ・ 本ケース [底部] に接続可能なパーツ類
 - イン 「ダイレクトベース III」 「Z ジョイント」 「Z アダプター MV」 「Z アダプター II」 「Z アダプター」 (*7)、
「グリップベース D4」 、 「D ホルダー」 (*8)
- *1: 陸上にてご使用の場合には、アタッチメントレンズを使用しない状態であっても、主に広角モードで得られる画像が得られます (水中使用時の得られはありません)。陸上では、視野 (FOV) 設定を「超広角 (WIDE)」以外に設定するか、マウントケースからハウジングを取り外してご使用下さい。
- *2: 「UFL-G140 SD」と「UCL-G165 SD」は、水中専用設計です。陸上では使用出来ません。
- *3: 本製品底部の形状上、雲台の座面形状によっては、取り付け出来ないものがあります。雲台を取り付ける場合は、事前に取り付け可能か、ご確認をお願いします。
- *4: 本製品に収納可能なハウジングは、“タイプハウジング (60m/197 フィート防水)” です。新型 “HERO3 フラッシュ” に付属の “スタンダードハウジング (40m/131 フィート防水)” は対応しませんので、別途ご用意下さい。
(旧型 “HERO3” は、“タイプハウジング” が標準で付属します)
- *5: 取り付けネジの底当り (ハウジングへの干渉) を防ぐ為、本製品に付属の「M6×12 キャップネジ」へ交換するか、「M6 スペース」をネジに介す必要があります。詳細は後述 “各種アクセサリの取り付け方法” をご参照下さい。
- *6: パーツ本体が金属製の「Z アダプター II」 「Z アダプター」は座面の形状上、取り付け出来ません。(底面には取り付け可能です)
- *7: 本ケース底部の形状上、「Z アダプター MV」 「Z アダプター II」 「Z アダプター」取り付け時、これらアダプターの可動範囲に制限があります。
- *8: 取り付けネジの底当り (ハウジングへの干渉) を防ぐ為、本製品に付属の「M6×16 キャップネジ」で固定する必要があります。

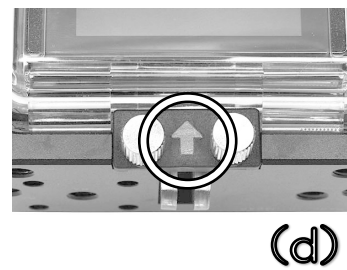
「マウントケース」への セット方法

純正タイプハウジングへ、GoPro®カメラ本体をセットして下さい。本ケースは GoPro®社純正オプションの「LCD バックパック」 「バッテリーバックパック」にも対応可能です。

マウントケース背面の上下に付いている固定板を、ネジを緩めて外し (a)、純正タイプハウジングをゆっくりと、奥まで確実に収納します (b)。



「固定板・上」と「固定板・下」の表裏、上下に注意しながら、ローレットネジで仮止めします (c)。「固定板・下」は矢印マークが上を向くよう取り付けして下さい (d)。



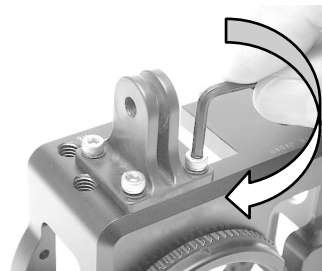
マウントケース内部でハウジングが斜めにならないよう注意しながら、4 本のローレットネジを均一に増し締めして、ハウジングを固定します (e)。ケース内部でハウジングが斜めのまま使用すると、アタッチメントレンズを装着した際、ケレの原因となるので、注意して下さい。



各種アクセサリの 取り付け方法

“アダプター(付属品)”の取り付け方法【上面/底部】

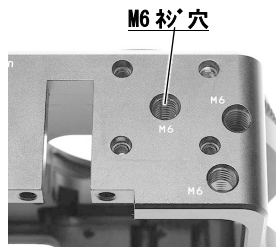
ケース本体4箇所“アダプター取り付け穴”に、取り付けネジ4本を使って、アダプターを六角レンチで固定して下さい。アダプターは右図の通り、ケース上面、または底部に装着可能です。



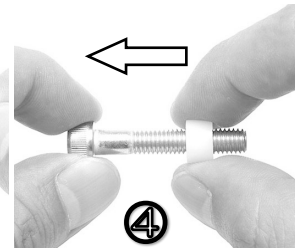
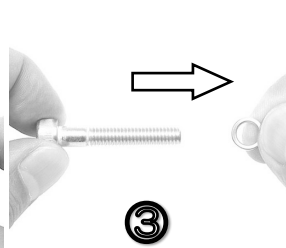
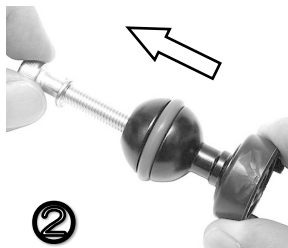
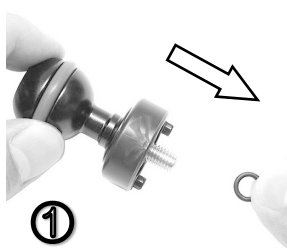
“ダイレクトベースIII”の取り付け方法【上面/底部】

ケース底部に装着する場合は、右図“M6ネジ穴”を利用して直接、取り付け可能です。

ケース上面に装着する場合は、取り付けネジの底当り(ハウジングへの干渉)を防ぐ為、本製品に付属の「M6スペーサー」を以下の手順で必ず装着して下さい。M6スペーサーの装着後、上面の“M6ネジ穴”を利用し、右図の位置へ取り付け可能です。



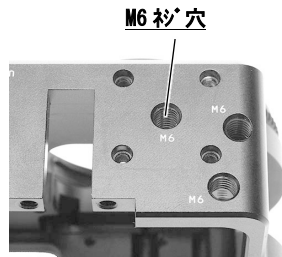
- ①ダイレクトベースIIIの底面に装着されている、キャップネジ抜け防止用のOリングを外す。
- ②キャップネジとスプリングワッシャーを、ダイレクトベースIII本体から外す。
- ③キャップネジから、スプリングワッシャーを外す。外したスプリングワッシャーは、他部品の装着時に必要なので、大切に保管して下さい。
- ④付属の「M6スペーサー」をキャップネジに通した状態でダイレクトベースIIIに挿し、抜け防止用Oリングを元に戻します。



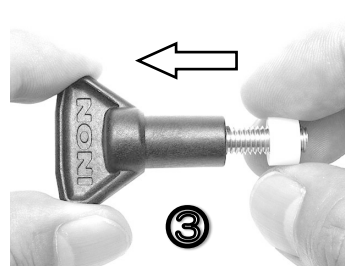
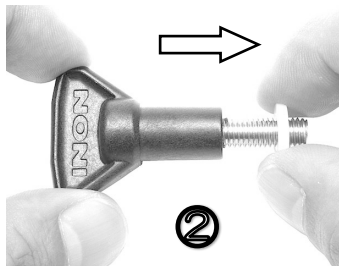
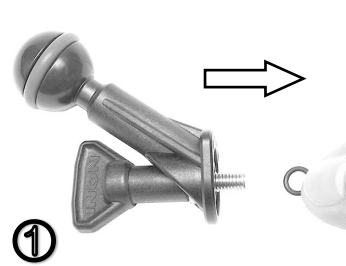
“Zアダプター-MV”の取り付け方法【上面/底部】

ケース底部に装着する場合は、右図“M6ネジ穴”を利用して直接、取り付け可能です。(※可動範囲に制限があります)

ケース上面に装着する場合は、取り付けネジの底当り(ハウジングへの干渉)を防ぐ為、本製品に付属の「M6スペーサー」を以下の手順で必ず装着して下さい。M6スペーサーの装着後、上面の“M6ネジ穴”を利用し、右図の位置へ取り付け可能です。



- ①底面に装着されている、蝶ネジ抜け防止用のOリングを外す。
- ②蝶ネジに通してある、ワッシャー(白)を外す。
- ③付属の「M6スペーサー」を蝶ネジに通した状態で本体へ戻し、抜け防止用Oリングを装着します。



“Zアダプター-II”、“Zアダプター”の取り付け方法【底部のみ】

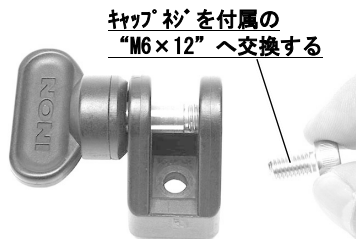
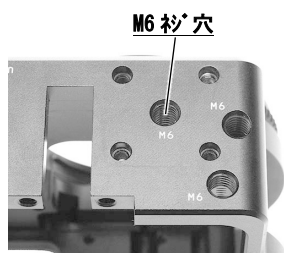
上記『Zアダプター-MV』の取り付け方法と同様に、ケース底部の“M6ネジ穴”を利用して直接、取り付け可能です。(※可動範囲に制限があります)

ケース上面には、アダプター座面の形状上、取り付け出来ません。

“Zジョイント”の取り付け方法【上面/底部】

ケージ底部の右図“M6ネジ穴”を利用して直接、取り付け可能です。

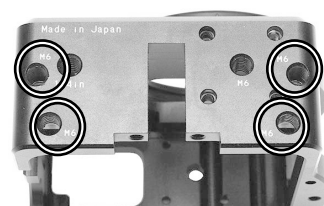
ケージ上面に装着する場合は、取り付けネジの底当り（ハウジングへの干渉）を防ぐ為、本製品に付属の「M6×12 キャップネジ」へ必ず交換してご使用下さい。M6×12 キャップネジの装着後、上面の“M6ネジ穴”を利用し、右図の位置へ取り付け可能です。



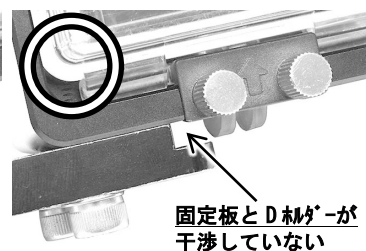
“Dホルダー”の取り付け方法【底部のみ】

取り付けネジの底当り（ハウジングへの干渉）を防ぐ為、本製品に付属の「M6×16 キャップネジ」へ必ず交換してご使用下さい。

M6×16 キャップネジの装着後、ケージ底部の右図“M6ネジ穴”を利用して直接、（左右2本）取り付け可能です。



Dホルダー取り付けの際は、右図の通り、Dホルダー角の部分が“固定板・下”に干渉しない様、取り付けして下さい。“固定板・下”と干渉した状態でDホルダーのキャップネジを締めると、固定板の破損やローレットネジ変形の原因となります。



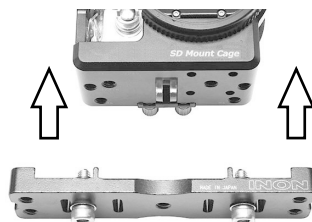
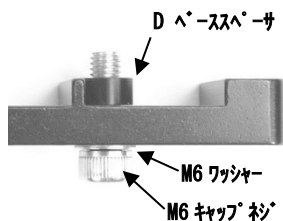
Dホルダーは握り角度を右図の二通りの角度で、セットする事が可能です。



“グリップベースD4 (Dベース・SPS)”の取り付け方法【底部のみ】

グリップベースD4の使用説明書内“マウントベース製品に取り付ける場合”の項と同様に、以下手順で装着して下さい。

- ①メインプレート/サブプレート、及び1/4カメラネジを外した「Dベース・SPS」本体に、下図の通り、グリップベースD4付属のM6キャップネジ/M6ワッシャーを通して、Dベーススペーサーをかぶせる。
- ②六角レンチを使って、ケージ本体のいちばん外側にある二つの“M6ネジ穴”へ締め付け、固定します。



アタッチメントレンズの取り付け方法

対応する各製品に付属の使用説明書をご確認下さい。

- メンテナンスについて
- ・ 固定板のローレットネジやアダプター、ベース等のキャップネジをケース本体にねじ込む際は、塩腐み防止の為、付属のグリスをネジ先端に薄く塗布してから、ねじ締めを行って下さい。
 - ・ ご使用後は真水で水洗いを行い塩分等の汚れを取り除いた後、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、よく乾燥させて下さい。変形や破損の原因になる為、火や熱などに直接当てないで下さい。
 - ・ お手入れの際、アルコールやベンジン、シンナーなどの有機溶剤や、防錆剤、潤滑剤、艶出し剤、洗剤（特にアルカリ性洗剤）などの油脂/化学薬品を使用しないで下さい。本製品の構成部品には、上記物質に触れると溶けたり、脆くなったりといった変化が起こるものがあります（ポリカーボネートなど）。
 - ・ 一週間以上ご使用にならない時には、SD マウントケースからハウジングを取り外し保管して下さい。長時間取り付け状態で保管すると、取り付け対応製品に持続的に力が加わり、変形/破損等が生じる恐れがあります。



- 使用上の注意
- ・ ご使用前/ご使用後は、「固定板・上」「固定板・下」のローレットネジがゆるんでいないか必ずチェックを行なって下さい。ローレットネジがゆるんだままご使用/運搬を行なうと、固定板の紛失やカメラハウジングの脱落などの可能性があります。
 - ・ ケース本体に純正ハウジングが収納された状態で、カメラ本体の取り出しやバッテリーの交換は出来ません。カメラのバッテリー交換やメモリーカードの取り外し、バッテリーの交換等をする場合は、ケース本体からハウジングを取り外して下さい。
 - ・ 本製品の取り付け作業等（以下、「当作業等」）は、GoPro®社が関知している物ではありません。「当作業等」についてのご質問、お問合せ等は、決して GoPro®社に行わないで下さい。同様の理由により、「当作業等」を行う場合、お客様ご自身が全ての責任を負う必要がある事をご確認下さい。
 - ・ 万一、「当作業等」を行う事によって不具合（ハウジング本体、ハウジング付属品、ハウジング内にセットするカメラ本体等の不具合等）が生じた場合、弊社は一切、その責任を負いかねます。
 - ・ 万一、「当作業等」を行う事によって浸水等の不具合が生じ、この不具合に起因する、付随的損害（撮影に要した諸費用及び撮影により得べかりし利益の喪失等）が発生した場合においても、弊社は一切、その責任を負いかねます。
 - ・ 以上の注意事項、及び補償条項について、ご納得頂けない場合には、「当作業等」を行わないで下さい。未使用の場合に限り、関連製品の返品を受け付けます。詳細につきましては、弊社までお問合せ下さい。

- オプションについて
- ・ 水中セミフィッシュアイコンバージョンレンズ UFL-G140 SD ¥39,000-（税抜）
本製品に取り付け可能な、水中専用のセミフィッシュアイコンバージョンレンズです。水中では約 94° まで狭くなる GoPro®の画角を、超広角『水中 140°』に広げます。また、最短撮影距離も短縮されるので、被写体の数 cm 前まで接近したダイナミックな撮影が可能です。



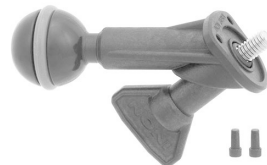
- ・ 水中ワイドクロスアップレンズ UCL-G165 SD ¥23,000-（税抜）
本製品に取り付け可能な、水中専用のワイド系クロスアップレンズです。最短撮影距離を大幅に短縮し、GoPro®単体では撮影困難であった超近接撮影/高倍率撮影を可能とします。水中では約 94° まで狭くなる GoPro®の画角を、『水中 110°』に広げて、汎用のクロスアップレンズでは実現できない被写界深度を確保しています。



- ・ ダイレクトベース III ¥1,800-（税抜）
本製品の上面と底部に取り付け可能な、ボールジョイントのアダプターです。ダイレクトベース III を本製品に取り付ける事により、ボール部を別売のクランプで固定し、様々なアームシステムへ展開出来ます。



- ・ Zアダプター-MV ¥1,800-（税抜）
本製品の上面と底部に取り付け可能な、ボールジョイントのアダプターです。本製品への取り付けには蝶ネジを使っているため、蝶ネジを緩めて回転させ、ボール取り付け角度を変える事が可能です。



- ・ Zジョイント ¥1,500-（税抜）
本製品の底部に取り付けることで、本製品を “「YS アダプター」互換アーム” を有する製品（「シューベ-ス」「D 軌道」）「YS アダプター-MV」等）に取り付け可能とするジョイントパーツです。



- ・ Dホルダー ¥4,000- (税抜)
本製品の底部へ「Dホルダー」を左右に1～2個、二通りの握り角度で増設可能。シンプルな1灯構成から、LEDライトを左右に取り付けた多灯構成まで、用途に合わせて構成可能です。



- ・ グリップベースD4 ¥8,000- (税抜)
新開発の“SPS(スライドプレートシステム)”を搭載し、本製品の他、多くのハウジングへ直接取り付けが可能。上記「Dホルダー」を追加する事で、多灯構成への拡張が可能です。

- ・ SDフロントマスク STD ¥4,500- (税抜)
GoPro®社純正“スタンダードハウジング(40m/131フィート防水)”、又はハウジング一体型の「HERO」「HERO+」「HERO+LCD」に対応した、軽量/小型なGoPro®システムのコアパーツです。(※本製品対応の“タイプハウジング(60m/197フィート防水)”には対応しません) 着脱ロック機能付きのSDマウントを装備している他、底面にアーム用アダプター等の取り付けが可能です。



- ・ オスアダプター(GoPro®規格) for SDフロントマスク/SDマウントケース ¥800- (税抜)
付属品画像中、「11.」「12.」「13.」のセットです。追加する事で、上面/底部の両方に、GoPro®規格のアクセサリを使用する事が可能となります。

イノン SDマウントケース for HERO3/3+/4 主要性能 [*1]	
名称	SDマウントケース for HERO3/3+/4
寸法(※突起部を含まず)	88.5mm(幅) × 79.9mm(高さ) × 51.3mm(奥行)
本体重量	183g(陸上) / 約114g(水中)
本体材質 / 表面処理	耐蝕アルミ合金/硬質アルマイト、POM 等

*1 性能、価格等、予告なしに変更する場合があります。予めご了承下さい。
*2 「GoPro」「HERO」「BacPac」はアメリカ合衆国 GoPro Inc. の商標または登録商標です。